

下関女子短期大学 桜山会だより

第15号

平成8年9月1日

発行

下関女子短期大学

桜山会

☎(0832)23-0338

印刷 山陽事務機(有)

五年目の課題

会長 藤井信子



爽秋の候、会員の皆様には如何お過ごしでございますか。

昨年は、淡路、阪神の大震災に見舞われ大変な年でございました。早いものでそれから約一年と八ヶ月を経過しました。復興の方も早々に進められているようでございますが、まだまだ大変な御苦労をされておられる方も多いそうです。

桜山会の関西支部でも、今年になってやっと会員の皆様の被災の御様子が詳細には申せませんが、わかってまいりました。関西支部の皆様、どうぞこれも人生の一部だとお考えになってくじけずにがんばって再出発されてください。

さて、今年も又、七月に総会を終わらせるところでございます。実行委員会制にして三年を経過致しました。まだまだ内容につきま

しては不手際な点も多々ございますが、役員一同「総会の一日を楽しく過ごして頂く」ことを中心にいろいろ考慮しているところでございます。

桜山会も年々会員数も増し、総会の御案内、「桜山会だより」等送部数も増加してまいりました。

「桜山会だより」の内容ももっと魅力のあるものにしなければと考えておりますがスペースの関係もありまして、いつも総会一式に終わってしまうようです。従って目を通すことも面倒となり捨てられる方も多くあるように聞いております。この件につきましても魅力のある編集を研究しなければならぬと思います。

最後に、私ごと、いつの間にか会長五年目に入ってしまった。日時の過ぎることの早いこと、今さらながら五年の歳月をふりかえっております。マンネリ化の防止に再度原点に立ち桜山会の運営に努力しなければと思っております。

次回実行委員の方々

第32期生 (平成6年度卒業)

クラス	氏名	旧姓	住所
生活科学科	◎ 林 明美		豊浦郡
	○ 渡邊 美佳		北九州市
	小川 雅美		下関市
	佐甲 ゆかり		下関市
食料養	縄田 敦美		下関市
	小柳 あかね		下関市
	田中 博美		下関市
	恒成 千晶		豊浦郡
保育科	1組		
	2組		
音楽科	○ 吉田 真喜子		大分市
	○ 丸永 裕子		厚狭郡

◎ 実行委員長 ○ 副実行委員長

第22期生 (昭和59年度卒業)

クラス	氏名	旧姓	住所
家政科	家 政	稲垣 ゆか	下関市
	食物養	萬代 理子	美祢市
保育科		後藤 比路江	中村 北九州市
		真鍋 久美子	山陽町
音楽科		西林 博子	丸山 熊本県

※ 実行委員と連絡を取りたい方は、本部までお問合せ下さい。

第三十三回

桜山会総会

去る七月十四日(日)小倉ホテルにおいて、第三十三回桜山会総会が開かれました。

当番期制を発足して三年目、出席者七十六名、中には母娘二代で参加された方もあり盛大に催されました。

毎年続けて出席して下さる方の数も増え、いつも同じ内容にならないよう、もっとアトラクションに工夫をこらしては?という課題を残して幕を閉じました。

来年度の当番期の方々、ぜひ頑張って盛り上げて下さい!!



うございしました。

お世話下さった
実行委員の方々

〈実行委員長〉

秋山 智美 31期 生活科学専攻

〈副実行委員長〉

山崎 靖代 31期 食物栄養専攻

古川 理恵 31期 保育科

〈実行委員〉

荻谷 栄美 31期 生活科学専攻

山下 真美 31期 食物栄養専攻

近藤美由紀 31期 保育科

竹田亜紀子 31期 保育科

藤田 恵子 31期 保育科

藤井 信子 1期 家政専攻

岡崎 葉子 1期 家政専攻

平野真砂子 21期 食物栄養専攻

末永 美佳 21期 保育科

平原寿賀子 21期 保育科

稲員 祥子 21期 保育科

皆様お疲れ様でした。ありがと

桜山会を終えて

副実行委員長 第三十一期生
生活科学科食物栄養専攻

山崎 靖代

皆さんと
専攻の報告
栄冠を授けられ
食物栄養専攻
31期生代表
山崎さん

今年は、私たち三十一期生が桜山会の当番と聞き、約八ヶ月をかけ、役員の皆様のお力をお借りして、なんとか七月十四日を迎えることができました。懐かしい友人や先生方にお会いでき、私にとっても、出席された方にとっても、大変心に残る一日だったと思います。

友人の中には、裁判所で秘書をしている人、また病院で栄養士をしている人（特に今年は伝染病にも指定された「O-157」が大発生し、気をつかわれたことと思います。）など、まだまだ男性社会と言われている中で、いろいろと活躍している様です!!

私も社会人三年目になります。最近よく思うことがあります。

す。それは、社会に出て男性と共に働くことだけが仕事ではない、ということ。結婚して子どもを産み、一人の人間として育てていくことは、社会で働くのと同じくらいに難しく、苦勞の多いことではないでしょうか。出席された先輩方を拝見していると、人生の先輩でもあるということがよくわかりました。

また、先生方とは時間を忘れるくらい楽しくおしゃべりができました。お忙しい中御出席いただき本当にありがとうございました。

しかし総会を終わってみますと、「あの時にこうしておけば良かった。」など、反省すべき点が多々あり、それが心残りでもありません。

来年の当番期の方々、是非その反省点を改善して、さらに楽しい総会にして下さいネ！期待しております。

十二年ぶりのキャンパス

実行委員

第二十一期生 保育科

平原(宮地)寿賀子

卒業以来ずっと保育の仕事に携わってきました。このたび同期の役員さんの電話攻撃に押されて、桜山会の実行委員を引き受けることになったのですが、ふと気がつ

くと短大を訪れたのは実に十二年ぶりでした。岡崎先生に「十二年も来る用事がなかったんかね。」と冗談まじりに言われながら、懐かしいキャンパスを見て回りました。

河野先生が御結婚されたことは存じていましたが、建物や雰囲気も大きく違っているのに驚きました。児童研究部の取り組みも私のいた頃とは活動内容も変わり、創作を楽しんでいらっしやるのがうらやましい位でした。

二十一期生の私達から始めたチャリティコンサートが、今も創作発表会として形を残しているのもうれい事です。先生方のお話で、「もっと気軽に学校に訪れて、学生達の活動を保育現場に生かして下さい。」との内容があり、すばらしい手作りの教材をお借りする事もできると伺って、うれしく思いました。機会があればぜひそうさせていたただきたいとおもいます。

桜山会総会では、お手伝いをした事よりも友人とおしゃべりした事の方が主になってしまいました。が、久しぶりに会えた人も多く、皆さんがそれぞれの道をがんばっておられる様子を伺い、楽しい一日となりました。まだ桜山会に参加した事のない方は、ぜひこの機会を利用し、遠方の友人を誘って出席されるようお勧めします!

私達の年代は丁度子育てに忙しい方が多いのでお誘いしにくいのですが、桜山会を理由に腰を上げ、思いきって出かけると思いが、いかがでしょうか?!

最後に、私事ですがやっとうと子宝に恵まれ現在妊娠五ヶ月です。仕事は今の所休んでいます。仕事を離れても大好きな子どもに接していられる自分を幸せに思います。



懐かしい再会に感激して

第一期生 家政科家政専攻

山中(植田)由美子

同窓会とは懐かしい方々との再会が出来るからと、私はいつも楽しみにしているのですが、短大の同窓会総会に出席するたびに淋しく感じております。同期の方々の出席が少ないからなのですが、総会という全体の集まりだからかもしれせんし、私達第一期生は、三十三名という学生数でしたし、ほとんどの方が結婚して遠くに住んでいらっしやるからでしょう

か。関東、関西、四国、九州と全国各地にて生活していらっしやるのですから、なかなかお会いすることが出来ないのはしかたないことだと思います。

私も、平素忙しく、忘れていたのですが、総会に出席すると学生時代を思い出してしまいます。三十三年前の三十二名のお一人お一人のお顔やお名前を覚えておりますし、楽しかった学生生活を思い出すことが出来ます。私は下関を離れることなく、永年下関に住んでいるからでしょうか、下関に帰って来てくれる友達との再会をとても嬉しく感じております。

先日、小学校、中学校時代の同期会に出席いたしました。懐かしい方々に会えてとても感激いたしました。転校していった方が四十年ぶりに、卒業後三十八年ぶりにお会いした方もありました。懐かしい再会に大変感激いたしました。

同窓会ってこうあってほしいと願うのは私だけでしょうか。懐かしい再会は明日への活力を与えてくれたように感じられましたし、お互いに健康であればこそ感謝の気持ちでいっぱいでした。これからも機会があれば出席したいと思えます。同期の皆さんのご健康を祈りつつお会い出来る日を楽しみにしております。

ツルの一声

佐武 進



この十五年間、桜山会の同窓会に出席し、卒業生のみなさんの元気な姿を、職場に、家庭に活躍しておられる様子を楽しく拝聴させて頂いている。昨年度の同窓会で卒業生のみなさんから「タカ先生コール」が湧き起こり、私もそれに応じてタカ先生ご存命の頃のことについて話をしたことを覚えている。タカ先生ご存命の頃の思い出は、良きにつけ悪しきにつけ語り尽くせない程あるが、その中でも私にとって忘れることの出来ない出来事をご紹介します。

私が本学に赴任したのは昭和四十三年、当時父が本学の教授として勤務していた関係で本学にお世話になることとなった。古い卒業生の方は覚えておられるだろうが、人形の飾ってある薄暗い応接室でタカ先生の面接を受けたことは今でも鮮明に思い出す。

勤務して三年目の夏、父が本学

に在職のまま逝去し、父の担当授業の後任として赴任してきたM講師との出会いが事の始まりである。芸大卒？のふれ込みで着任したM講師が何才であったのか今だに定かではないが、年齢の割に気性の激しい方で、学生達の不平・不満を数多く耳にしたものである。中でも許せなかったのは、手が小さく指の短い学生に、ピアノの鍵盤の一オクターブが届かなければ落とすと威嚇したこと、私の

レッスンに関して学生と一緒に弾いて間違いのわかる筈がない、と決めつけたことなどである。幾度かの議論の末、M講師の希望により学生達の前で論議を聞わすこととなった。予想されたこととはいえ、案の状M講師は感情的になり「私が辞めるか、あなたが辞めるかです！」と捨てゼリフを残して教室をとり出し、そのまま出勤しなくなってしまったのである。私達若い職員達も一同に集まって授業をボイコットした次第である。

M講師は教室を飛び出した後、職員室でヒステリックに騒いだらしく、その騒ぎを聞きつけた上田節子先生は当時山口県の大御所と呼ばれた幡部先生に連絡するなど右往左往されたらしい。それからM講師欠勤のまま一週間が経ち、当時の教務部長から「佐武君、

ちょっと」「学長がお呼びである」と当時事務局の前にあった学長室に呼ばれた時は、諸般の状態から私は勿論のこと周囲の誰もが「もはやこれまで」と思ったに違いない。

私も来るものが来たと覚悟をして教務部長と学長室で待つこと十分間（もってであつたらうか）タカ先生がみえられた。議論を皆に聞いて貰おうと職員室でした経緯もあり、教務部長が頭をかきながら「私も薄々は気付いておつたのですが……」と切り出そうとする、タカ先生は激しい声で「あなたは黙つたれ、ワシはこの子をよう知つとる」と一蹴され、私が我慢ならなかったことを述べようとすると、「何も言わんでいい、やり方が悪かったな！」この一言を残し奥に去られた。

この間僅か一分か二分、まさに「ツルの一声」ならぬ「タカの一

声」であった。（その後M講師は出勤し、私をはじめ若い先生に謝罪して廻つたにもかかわらず、翌年三月引導を渡されたことは、彼女の言葉通りの結果であり、言うまでもないことである。）

爾来二十有余年、タカ先生のお言葉と熱き思いに応えるべく勤務させて頂いている。

平成7年度 桜山会決算報告書

(平成7年4月1日～平成8年3月31日)

収入の部

項 目	予算額(円)	収 入(円)	差 額(円)	備 考
前年度繰越金	163,093	163,093	0	
平成7年度運営費	2,100,000	2,100,000	0	7,000円×300名
預 金 利 子	100,000	127,519	27,519	
総 会 費		239,000	239,000	会 費
合 計	2,363,093	2,629,612	266,519	

支出の部

項 目	予算額(円)	支 出(円)	差 額(円)	備 考
通 信 費	900,000	851,460	48,540	
活 動 費	400,000	341,767	58,233	
印 刷 費	150,000	143,170	6,830	
事 務 費	130,000	95,448	34,552	
総 会 費	250,000	390,434	△140,434	239,000-140,434=98,566円
慶 弔 費	40,000	29,352	10,648	
卒 業 記 念 品	160,000	165,994	△5,994	卒業生316名×510円
支 部 補 助 費	100,000	100,000	0	
予 備 費	233,093	0	233,093	
合 計	2,363,093	2,117,625	245,468	

収入の部 2,629,612円 支出の部 2,117,625円 残高 511,987円 (来年度へ繰り越し)

桜山会総会に出席して

第二十一期生 保育科
村上(石田)公子

卒業後、関西の方に行つて七年間保育をしていましたが、三年前に結婚して今は二才と一才の二児の母です。

保育をしている時は四十人以上の子ども達を一人でみていたのに、今はたった二人の子どもにでんてこまいしている毎日です。

今回、桜山会に出席させていた

だくことになり、帰省するため新幹線に乗るのも大騒動…。荷物は多いし、二人の子どもは別方向にチヨロチヨロするし…。

子育ては本当に大変です。でも子どもに「かあちゃん大好き」って言われると、疲れもふつとんでしまふのが不思議です。これから、子育てを楽しみながらがんばりたいと思います。



クラス会だより

懐かしさ一杯のクラス会

第四期生 家政科家政専攻
中山(作永)玲子



第四期生 家政科家政専攻の皆さん

家政科家政専攻第四期生のクラス会を七月二十七日に大島町で開催しました。大島大橋を渡り、大橋のすぐそばの大観荘で会食、三十年ぶりの顔と顔、急に学生時代がよみがえり懐かしさで一杯です。思い出話や近況話に花が咲き、しばらく現実から遠ざかりました。瀬戸内のうず潮の音もこころよく、三時間余りがあったという間に過ぎ去りました。出席して良かった。心の中でつぶやきました。三十年前の学生時代があった事、そして友達は何年たってもいつ再会しても気さくで、本当に有りがたいものだとしみじみ感じました。皆さんそれぞれにお仕事をお持ちで、今回出席できなかった

方々、お逢いできなくて本当に残念でした。次回は是非お顔を見せて下さい。

出席の皆さんの最後のお話は、川口先生や中原先生にお目にかかりたいということ、春か秋の方が良いのでは...という事でした。次回の開催予定地は小倉か下関(下関だったら先生方にもお逢い出来るかもしれない)ということとで、遠い所(京都)から来られた方からさよならをしました。毎回新しく出席される方が一人でも多い事を願っております。

短大行事

○学園創立七十周年記念式典講演
十月三十日(水) AM 10:00

於 下関市民会館大ホール

記念講演 映画監督 大林宣彦氏
○桜山祭(大学祭) 於 本学
十一月九日(土)・十日(日)

○音楽科定期演奏会(≡ニ〇〇)
十一月二十九日(金) PM 6:30

於 北九州市立響ホール

・テノール独唱 山崎 勝幸
・ピアノ独奏 山本 英二
他電子オルガン独奏、合奏等

○保育科創作発表会(無料)
十二月二十二日(日) PM 1:00

於 下関文化会館

※小さいお子様にはおみやげもあります。是非お越し下さい!

新役員紹介

(本部)

会長	藤井 信子	1期生
副会長	岡崎 葉子	1期生
書記	中村きみえ(青崎)	5期生
書	山下 真美	9期生
計	稲員 祥子(磯田)	21期生
会	北川由美子	28期生
常任幹事	杉本美知子(末透)	6期生
監	真鍋久美子	22期生
査	本間 智子	28期生
益村 正子(久保)	6期生	
顧問	西村 清	
高井 徹		
川口シヅ子		
佐々木具慶		
一柳 和正		

(関西支部)

支部長	角石 泰子(伊勢屋)	3期生
副支部長	大石 美江(安部)	6期生
青木 陽子(椋梨)	1期生	
計	野口 和代(竹田)	2期生
監	秋本 幸子(貞松)	3期生

○音楽科卒業演奏会

二月二十五日(火) PM 6:30
於 海峽メッセ(九階)海峽ホール

○第三十四回卒業証書授与式
三月十八日(火) 於 本学

ご新任・ご退任

(退任)

企画広報室長	中野 恵二
一般教育 特任講師	阪本 正樹
生活科学科 教授	藤澤 浩明
〃 助手	藤原 安代
保育科 教授	磯野 有秀
音楽科 特任教授	上田 節子
〃 教授	山本 綾子
図書館 寮母	内田 悦子
寮母	尾崎 典子
廣田スマ子	
田中 辰子	

(新任)

学生部教職課長	篠田 文夫
生活科学科 教授	河内 正通
〃 助手補	川村 輝美
保育科 講師	渡辺 靖志

音楽科 教授 田村 勝哉
図書館 司書 大賀 麻衣
寮母 福光 裕子

(逝去)

重永 幸男(平成七年十二月)
都築 岸江(平成八年三月)
北川 保(平成八年三月)
上田 孝治(平成八年五月)
(敬称略)

創立七十周年に

あたって

今年には学園創立70周年です。桜山会からも校旗(八十万円相当)を購入して寄贈すること、このため基本金をくずすことが先日の桜山会総会において承認されました。

お知らせ

短大も開学して三十有余年、卒業生も年々増え、本年度で六千人を越えます。「桜山会だより」の印刷代・郵送料も多大な額となってきました。また発送の作業に携わる人手も不足してきている状態です。

会員の皆様の中には、毎年たよりが届くのを心待ちにして下さっている方もあれば、あまり関心のない方もいらっしゃるようです。どうぞ、ご理解下さい。

尚、内容につきましては、皆様に楽しく読んで頂けるよう、今後とも一層努力していきたいと思っております。